



# まきらり

令和6年9月25日  
真喜良小学校だより  
まきら小まつり終了号  
児童数：265名  
TEL 83-6850  
FAX 83-3774



学校教育目標：「**幸動**」～自分とみんなの幸せのために行動する子～

## 「大盛況でした！25歳のまきら小まつり」 校長 磯部大輔



去る9月22日、「まきら小まつり」が盛大に開催されました。この祭りは、保護者、教職員、そして地域の皆様の協力のもと、まきらっ子が楽しむ場を提供することを目的としており、今年も多く笑顔と共に幕を閉じました。

この「まきら小まつり」はコロナ禍で一時中断していましたが、昨年度4年ぶりに復活し、今年度はさらに充実した内容で開催されました。

今回の祭りでは、コロナ禍以前の状態に戻すことを目的とせず、残すべきところは残し、改善すべきところは改善するという方針のもとで実施しました。この柔軟なアプローチが、より充実した内容を実現する鍵となりました。

コロナ禍によって保護者、地域とのつながりが希薄になり、PTA行事への参加率が低くなっている現状を改善するため、「まきらっ子が楽しむ場を提供する」ことを第一の目的としました。そのために、「保護者の協力を得る」、「地域の協力を得る」、「教職員も主体的に参加する」ことを事前に確認し、多くの方々が一丸となって様々なアクティビティや飲食の出店を準備しました。子どもたちは工夫を凝らしたゲームや舞台余興などを楽しみ、保護者や教職員同士の交流も深まったことと思います。

さらに今回の祭りで目指したことは、祭りを通じて地域や本校PTAのOBの皆様にも足を運んでいただくことでした。ご存じのとおり、本校は石垣市で最も新しい学校として開校28年目を迎えています。開校当時から移住者が多い地域でもあるため、PTA活動が学校と地域をつなげる大切な役割を担ってきました。そのPTA活動に熱心に関わっていただいたOBの方々がこれまで以上に多数参加されたことは、地域とのつながりをいっそう深めることになったと信じています。懐かしいたくさんのお話の中で、第1回の「まきら小まつり」が1999年8月に開催されたことや、そのときのご苦勞をうかがうことができました。「まきら小まつり」も25歳を迎えたんですね。

いろいろな場でお伝えしていることですが、私は真喜良小での勤務は2回目、我が子2人も真喜良小に通っていたので、保護者でもありました。私も移住者ですので、我が子の母校である真喜良小が石垣島のふるさとです。25年前に生まれた「まきら小まつり」と、17年前に創立10周年を記念して誕生した「真喜良獅子」が、アップデートしながら今も続いていることに大きな喜びを感じています。

本校の合い言葉である「自分も幸せ みんなも幸せ ウェルビーイング」の精神が、祭りの随所に感じられました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。今後も真喜良小PTAは地域と共に歩み、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

# 会場に笑顔広がる

## 真喜良小 まきら小まつりにぎわい P T A



元気よく駆けまわる真喜良獅子。会場は大盛り上がり  
＝22日午後、真喜良小学校体育館

PTA内の親睦を深め、学校を中心に地域のつながりを強めようと真喜良小学校PTA（天久朝景会長）による「まきら小まつり」が22日午後、同校体育館を主会場に開催された。大人や子どもたちはイベントを通して地域との結束を高めた。

同まつりはPTAを中心に、同校児童265人や学校職員が一丸となって取り組んでいる。コロナ禍に伴い昨年度、復活した。

体育館内には各学年によるゲームやバザーコーナー、屋外はスポーツ少年団に所属する各部活動が舞台を出店した。

ステージでは、児童によるダンス、お楽しみ抽選会、RYOEIさんのスペシャルライブ、鼓笛演奏があった。同校創立10周年を記念して誕生した勇壮な真喜良獅子が登場すると、会場は大きく盛り上がった。友人らと参加した小学3年生の榎本風花さん（9）は「射的ゲームで1等を当てて、商品に妹が喜びそうなアヒルの浮輪を選んだ。来てよかった」とうれしそうに話した。

八重山毎日新聞 2024/9/24

# 伝統の獅子舞も登場 まきら小まつり盛況



真喜良伝統の獅子舞が体育館を駆け回った。＝22日午後、真喜良小体育館

2024まきら小まつり（主催・真喜良小PTA）が22日午後、同校で行われた。同校体育館では、児童らによるダンスやお楽しみ抽選会などが行われ、児童や保護者、地域民などを多くの人で会場を埋め尽くした。同校10周年から伝統の「真喜良獅子舞」では、同クラブの児童らが「イタシキバラ」を披露し、2頭の獅子が体育館を駆け回って子どもたちの頭をかじり、邪気を払った。体育館横では、野球、バレー、バレー、サッカー部のスポーツ少年団がそれぞれ舞台を出し、多くの人が並んでいた。同小1年の比嘉瑞央南

さんは、獅子舞が近くにきて「怖かった」と声を震わせた。「輪投げや射的もした。いっぱいおいしいものを食べられた」と笑顔も見せた。スベシャルライブとして、石垣島出身でシンガーソングライターのRYOEIさんのステージもあった。

八重山日報 2024/9/24